



JAあそだより

平成25年 1月

謹賀新年



阿蘇神社

■今号16ページ主な内容

- 「新年のごあいさつ」組合長 工藤保雄
- JA阿蘇青壮年部・女性部、各生産部会の動き
- 「まるごと阿蘇」2012年の活動報告
- 盛り上がった多彩なイベント
- ちゃぐりん感想文、あそっ子スクール、親子でちゃぐりん
ほか話題満載!!



JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

協同組合の力で農業と地域を豊にする 「次代へつなぐ協同」を主軸に



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 工藤 保雄

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、JA事業に対し深いご理解とご支援を賜り、役職員を代表致しまして心よりお礼申し上げます。

昨年、7月12日に発生しました豪雨によりまして、犠牲となられました方々に改めてお悔やみを申し上げますとともに、被災者の一刻も早い復旧復興に全力を尽す覚悟でございます。

また、重大な不祥事が発生致しました。組合員をはじめJAグループに多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後は信頼回復に向け、職員教育の徹底等、役職員一丸となって取り組んでまいります。

また、本年はJA阿蘇活動総合3ヵ年計画を検証し、次の3ヵ年計画、「協同組合の力で農業と地域を豊にする「次代へつなぐ協同」を主軸に、組合員の世代交代に対応し、次世代をはじめ多様な組合員・地域住民等が結集し、農業づくり、協同運動に参加することで、組合員のニーズが実現され、課題が解決されていく姿を目指す必要があります。

尚、農政運動としてTPPの参加は、国内の農林水産業が破壊的な打撃となることは明らかです。医療・保険・中小企業などあらゆる分野に影響を及ぼし、国のかたちを揺るがす重大な問題です。TPPに断固反対しなければなりません。

また、持続可能な農業・農村の実現に向けた政策の確立について、地域の実態や品目特性に応じた新たな総合的農業政策を確立する運動を展開します。

農業・JAを取り巻く環境は大変厳しく、予断を許さない状況が続くと思われませんが、組合員はもとより地域住民や利用者に信頼され、選ばれるJAを目指して積極的な事業活動を図っていく所存です。本年も役職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様の更なるご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、組合員の皆様のご健勝とともにご家族の皆様にとって良い一年になりますことを祈念致しまして新年のご挨拶と致します。

◆最優秀賞◆
 ●盟友の主張「地域と共に生きる」
 下田剣太郎さん(白水支部)
 ●手作り看板コンクール
 阿蘇町支部・高森支部



盟友の主張を述べる下田さん

「将来の農業に向けて、意見・希望・提言を発表しよう」と青壮年部は10月12日、JA阿蘇本所で盟友ら40人が参加し熊本県青壮年部大会への選考会を実施しました。同選考会は当初8月上旬に計画されていましたが、7月の九州北部豪雨により大きな被害が出たため延期されてきました。そのため思うような活動が出来なかった支部もあり、今年「盟友の主張」と「手作り看板コンクール」を行いました。その結果、盟友の主張では「地域と共に生きる」と題し発表した白水支部の下田剣太郎さん、手作り看板では阿蘇町支部と高森支部が最優秀賞に輝きました。

盟友の主張最優秀賞の下田さんは「県大会でも自分の意見をしっかりと述べてきたいと思います」と力強く抱負を述べ



べていました。看板コンクールの作品は10月に開催された農業フェアに出品されました。(写真右上)阿蘇町支部の作品、写真右下は高森支部の作品

「JA阿蘇女性部フォーラム」開催

コンクール表彰や感想文発表
 体験発表や講演など多彩な催事



「第10回JA阿蘇女性部フォーラム 家の光大会」が11月17日、阿蘇市体育館で開かれ女性部員をはじめJA関係者ら356人が参加しました。開会に先立ち、オープニングセレモニーとして西原支部有志による華麗なパチさばきと、梅沢富美雄の二代目になる

と評判の小学生の華麗なスコップ三味線の演奏(写真①)と踊りが披露され、会場を一気に盛り上げました。

9月に開催した「加工品コンクール」表彰式も行われ、緒方洋子女性部長(写真②)より最優秀賞の岡田留里子さん(白水支部)と写真③左端)ら9人に表彰状と記念品が贈られました。「ちやぐりん」の普及活動では、高森支部フレッシュミズと高森支部(写真④)に家の光協会より感謝状が贈られました。

主催者挨拶で緒方部長は「女性部は10年の節目を迎えたが、依然、農業を取り巻く状況は厳しく、このような時こそ女性のパワーと参画が必要。女性部の積極的な活動を通じて地域づくりにも貢献していきましょう」と力強く述べました。

恒例の「ちやぐりん感想文」(10ページに記載)発表では、小国小4年の木越結莉恵さん、碧水小4年の西瑠香さん、白水小4年の興栞花音さんがそれぞれステージで朗読。大きな拍手を浴び、緒方部長から表彰状と記念品が贈られました。

体験発表では「10年間の自分を振り返って!!」というタイトルで、高森支部(フレッシュミズ)の山室智子さん(写真⑤)が農家に嫁いだ動機や活動体験などを語りました。

講演では、め組JAPAN鹿兒高子(写真⑥)代表の橋之口みゆきさん(写真⑦)が「いのち輝いて今を生きる」という演題で、これまで発展途上国の子供達や東日本大震災支援活動を通して学んだ貴重な体験や命の大切さを話しました。



県内先頭を切りイチゴ出荷
200万パック、5億円を計画

J A阿蘇中部地区

中部イチゴ部会は昨年7月12日の豪雨により、15万本を超える苗が被害にあいましたが、県内各地から寄せられた支援苗(日本農業新聞「記事参照」)より再起を切ることができました。9月中には45人の部員が定植を終え、10月21日から阿蘇野菜集荷場で県内先頭を切り高冷イチゴの出荷が始まりました。

2012年度の作付面積は11ha(前年比84%)で「さがほのか」「紅ほっぺ」をメインに、JA阿蘇の中でも上位の作付面積を誇っています。栽培は高冷地であるため寒暖の差があり、肥培管理が難しいと言われていますが食味は申し分ありません。

12年度の出荷量は200万パック(1パック300g)、販売高5億円を計画しています。出荷は6月下旬までと



っており、販売担当の甲斐裕久職員は「今年(2012年)は例年にならない晩秋からの冷え込みになっているため、食味は申し分ない。今後の収量に期待しています。(写真左上)出荷前のイチゴを検査する職員」

◆「日本農業新聞」から転載

支援受けイチゴ産つ前進する被災地
九州北部豪雨から3カ月

福岡、熊本、大分の3県を襲い、農業だけで計400億円の被害を出した九州北部豪雨から3カ月が経った。被災地では被害の傷跡は今も生々しいが、新たな一歩も始まっている。最も多くの被害者を出した熊本県阿蘇市では、県内各地から寄せられた「ヒトとモノ」の支援を糧に、イチゴ農家たちが再起のスタートを切った。

熊本県のJA阿蘇中部いちご部会は、45人の部員が9月中に苗の定植を終えた。例年より約半月遅れたが「今年もまた作れる。それだけでほっとしている」と宮本陽一(みやもとひろかず)部会長

(57)は、妻の野子さん(50)と追肥など栽培管理に当たる。23アールのハウスに植えた苗1万4000株のうち、1万2000株は県内の6JAや経済連から集まった「支援苗」だ。

7月12日、同市では深夜から降

り続いた豪雨で市内を流れる黒川が氾濫し、山からの土砂と相まって周辺の田畑1300ヘクタールに流れ込んだ。宮本部会長のハウスも高さ70センチの泥水に浸かり、育てていた苗を失った。部員の約半数が被害に遭い、苗の不足は15万株に上った。宮本部会長も「時は今年の栽培を諦めたが、宮本再開を後押ししたのは、復旧に駆けつけたボランティアや苗集めに奔走する同JA職員の姿だった。県内の他JAからも農家が応援に来た。「地域は違っても同じイチゴを作る仲間だ。生産者が年々減っていくなかで、もう仲間を失いたくない」。JAやつしろのイチゴ農家が泥出し作業の合間に吐いた言葉が忘れられないという。

不足分の苗15万本は県内からの支援で確保できたものの、同部会では今年、土壌の清浄不足などから5人が作付けを見送った。宮本部会長は「今年休んだ人も安心して帰ってこられるように、収量を確保して部会を守りたい。沢山の人の支援があつてここまで来れた。今度は俺たちが支える番だ」と、栽培管理には例年以上に気を配る。

標高が高くて冬が早い同市のイチゴは、11月上旬には加温が必要になる。浸水で故障した設備も多いが、同JA営農部中部事業所井手友和主任は「なんとか間に合うようにしたい」と、農家の負担が少なくなるように、同市、市の補助事業への申請を急ぐ。

施設園芸など一部品目では営農再開が始



「営農が再開できたのは、ボランティアや苗集めに奔走してくれたJA職員のお陰」と話す、中部イチゴ部の宮本部会長

まったが、一方で、水田など広範囲の被害はいまだ手付かずだ。福岡、熊本、大分3県の水田被害面積は3000ヘクタールに上り、土砂の撤去や崩れた畦の修繕など、大掛かりな工事が必要な箇所も多い。政府が復旧工事への支援を上乘せする激甚災害には指定されたが、農家からは「来年の作付けに間に合うのか」と不安の声が絶えない。

熊本県では、水田1300ヘクタールが被害を受け、そのうち1000ヘクタールが阿蘇市に集中した。水が引いた後も、多くが流木や土砂に覆われたままだ。

JA阿蘇営農部の高宮浩一郎部長はこのままでは、工事が完了するのは早くて来年の7、8月。水稲の作付けはできないだろうと、別の品目で時期が合うものが無いか模索する。

出荷数量44万パック
販売額1億3200万円目標
南部イチゴ部会出荷査定会



「更なる品質向上を…」と挨拶する島田部会長

J A阿蘇南部イチゴ部会は11月27日、生産者約50人が出席し2012年度出荷査定会を白水中央支所で行いました。冒頭の挨拶で島田豊部会長が「前年に引き続き品質向上強化と阿蘇イチゴのファン作りに取り組んでいきたい」と力強く述べ、2012年度より中部地区との一元販売を実施するため、シーズンの終わりには、一元販売に取り組んで良かったという声が聞けるよう、生産者が一丸となって頑張ろうと呼びかけました。

査定会では「新たな販売への取り組み」など4つの販売基本方針を打ち出し、担当職員がプロジェクターを使用し、現在の生育概況や商品価値の低い詰め方等について説明しました。また

生産者からは「消費地情報を小まめに察していほしい」など様々な意見や要望が出されました。

現在、南部イチゴ部会ではレギュラー1詰め(300g)を主軸に様々な出荷形態を取り入れ、特徴ある販売展開をしており、2012年度においては軽量化出荷についても検討していく予定です。担当の後藤真智職員は「消費地情報を生産者へ正確に伝え、産地からの情報も精度の高いものを発信していきたい」と抱負を語っていました。

今年度は、生産者18人で作付面積は3.7ha(前年比94.8%)、品種構成は「さがほのか」約70%、「紅ほっぺ」約30%、2012年度イチゴの販売目標は出荷数量は44万パック(1パック300g)、販売額は1億3200万円、目標パック当たりの販売単価を300円としています。



プロジェクターを用い、生育や詰め方について説明する担当職員

第10回全国和牛能力共進会



全国和牛能力共進会での審査の様子

◆**飯屋敏さん(蘇陽地区)が第6区高等登録牛群で1等賞1席**

5年に一度、全国の優秀な和牛を一堂に集められる全国和牛能力共進会が10月24日から29日まで佐世保市をメイン会場に行われ、蘇陽地区の飯屋敏さんが第6区高等登録牛群(母子・孫の3頭1セット)に出品しました。同大会の審査結果は和牛のブランド化に大きく影響するため、都道府県の威信をかけた重要な大会となっています。最終審査の結果、「しらゆき3号・ふくひさ号・あさがお号」は1等賞1席に選ばれました。飯屋敏さんは「関係各位のご協力での白を迎えられ、自ら生産した牛が全国の舞台に立てて一番の思い出となりました。上位入賞は叶わなかったが、5年後の全共に再度チャレンジしたい」と、次への決意を語っていました。

多くの来場者で賑わう！ JA阿蘇小国郷収穫感謝祭

JA阿蘇小国郷中央支所は11月24日、同支所の野菜集荷場で第12回収穫感謝祭を開き、農産物販売のほか多彩なイベントを催し約700人の来場者で賑わいました。会場ではJA職員による各種バザーや、青年部・女性部・生産部会らによる地元農産物をふんだんに使った野菜大鍋や、赤牛焼肉の販売コーナーなど多数が設けられ、大勢の客が押し寄せ長蛇の列が出来ていました。

特設ステージでは、ゆるキャラのくまモンをはじめ、女性部によるスコップ三味線などが披露され、会場からは終始大きな拍手や歓声が沸き上がっていました。



晩秋の阿蘇を満喫
まるごと阿蘇ウォーキング
2012



大自然を満喫しながら阿蘇ウォーキングのスタート

JA阿蘇では初めてとなる「まるごと阿蘇ウォーキング2012」が11月3日開催されました。当日は発着点の宮町「四季彩いちのみや」に県内から約130人が集まりました。

先ず、工藤保雄組合長が「阿蘇の大自然を満喫してウォーキングを楽しんでください」と挨拶。笹原光司専務理事の号令で一斉に出発しました。

コースは、阿蘇谷の田園地帯や阿蘇神社近くの門前町を通る約5kmで、参加者らは晩秋の阿蘇路を満喫しながら元気に歩き、約1時間半で全員が笑顔でゴールしました。参加者にはJA阿蘇青壮年部から地元農産物をふん

「長陽男子チーム」優勝
年金友の会ゲートボール大会

JA阿蘇年金友の会は11月10日、阿蘇市のグラウンドで「第12回親善ゲートボール大会」を開催しました。今年阿蘇管内から24チーム122人が参加。開会式では選手を代表して高森Bチームの高倉勝也選手(写真上)が元氣

だんに使った豚汁とからいも天ぷらが振る舞われ、お替わりをする人もいて好評でした。また、阿蘇の特産物や協賛品が当たる抽選会も行われ、番号が呼ばれることに歓声が上がっていました。参加者の一人は「天気が良くてとても気持ちのいいウォーキングができました。また来年もやってもらいたいですね」と笑顔で話していました。



参加者に青壮年部から豚汁などが振る舞われた

に選手宣誓を行いました。各コートでは楽しく元気なプレーが行われていました。

競技の結果、優勝は長陽男子チーム(写真上)、準優勝は高森Aチーム、3位は小野田チームとなりました。



JAバンク熊本・年金友の会
親善グラウンドゴルフ大会

「第14回JAバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会」が11月14日、パークドーム熊本で開かれ県内JAから481人が参加しました。

JA阿蘇からも地区予選を勝ち抜いた44人が参加し、A・Bブロック4コートに分かれ各選手は熱戦を繰り広げました。競技の結果、Aブロックで高森町の綾部誠子さんが3位、Bブロッ

好評だった
JA阿蘇総合展示会



総合展示会「小国会場」(小国郷中央支所)

JA阿蘇では「2012 JA阿蘇総合展示会」を10月末より順次3会場で開催しました。3会場での会期中、2352人の来場者があり4341万円の売り上げ(前年比112%)となりました。今後ともJAでは、生活用品においてもさらに良質で安価な商品に取り組み、生活事業の拡大を図る計画です。

クで阿蘇町の中村ヨウ子さんが5位にそれぞれ入賞しました。



写真上=Aブロック3位の綾部誠子さん
写真下=Bブロック5位の中村ヨウ子さん

◆3回目(10月20日)手作業で脱穀と粳摺り◆

「まるごとあそっ子スクール」の3回目の活動は、あそっ子と保護者ら32人が参加し「手作業による稲の脱穀と粳摺り」をしました。最初にバケツ稲の観察記録と勉強会をした後、ペットボトルを使った脱穀をしました。JA職員の指導でペットボトルに開けた穴に稲穂を差し込んで引っ張ると、粳がポロポロと取れ、あそっ子らは夢中になって作業を繰り返していました。その後、すり鉢に粳を入れて軟球ですり合わせると、玄米と粳殻に分かれました。昼食には参加者全員でバーベキューを楽しみました。



◆4回目(11月24日)「そば打ち」に挑戦◆

「まるごとあそっ子スクール」の4回目の活動は、「そば打ち」に挑戦しました。参加したあそっ子と保護者ら27人は、JA阿蘇女性部の住吉リエ子さんの指導で、新そば粉とすりおろした山芋を練り合わせて生地を作り、麺棒で薄く延ばして包丁で細く切りました。生地が破れたり、同じ太さに切るのに苦労したりしましたが、2時間で全員分のそばが出来上がりました。そばは茹でられて、昼食のかけそばとして全員で食べました。あそっ子らは「初めて作ったけどおいしい」と、何杯もお替わりをしていました。



「親子でちゃぐりんフェスタ in 山西小(西原村)」 ペットボトルで万華鏡 & ちゃぐりんマンと「アソルンジャー」クイズ大会

10月13日、西原村の山西小で「親子でちゃぐりんフェスタ」が開かれました。参加した山西小3年生と保護者ら約110人は8班に分かれて、JA職員の指導でペットボトルの万華鏡を作りました。約1時間でオリジナルの

万華鏡が出来上がると、子供たちは早速、万華鏡をのぞき込んだり、お友達と比べあつたりしていました。その後、ちゃぐりんマンと阿蘇戦隊「アソルンジャー」とのクイズ大会が開かれ、会場は大いに盛り上がりました。



平成24年「夏秋野菜まるごと阿蘇フェア」活動報告

JA阿蘇は、平成24年産の夏秋野菜の販売力強化・生産者手取り額の最大化を目指すために、「まるごと阿蘇」の発信と販促活動の強化・市場外流通の有利契約販売を行って来ました。以下は、その活動の報告です。

①阿蘇市民農園ネットワーク推進協議会の参加（写真下2点参照）

個々の農園・団体・地域が連携し、事業内容の一つである「阿蘇マルシェ」農業・食・自然の3つが協力して開催するイベントに参加し、阿蘇の野菜全般をアピールした。

◇開催日＝平成24年5月6日(日)・6月3日(日)・7月1日(日)、8月以降は7・12災害のため中止。

◇出店品目＝イチゴ・トマト・アスパラ・甘藷・生しい・ほうれん草・チンゲン菜・キャベツ・メロン・ヨーグルト



②鶴屋百貨店でのまるごと阿蘇フェア（写真下2点参照）

熊本を代表する名店・鶴屋百貨店と当地青果物の総合的な販売促進フェアをJA阿蘇全体で行っていく。

また九州新幹線開業等でますます熊本が全国の注目を集める中で、当地「阿蘇」というブランドは全国に通用すると考え、熊本最大のブランドである鶴屋百貨店と当地青果物のフェアを行うことで、消費者に訴求することを目的とし、また価格向上に繋がるものと考え計画した。

◇開催日＝7月～10月

◇出荷品目＝阿蘇野菜全般（小国地区・中部地区・南部地区）



③福岡ダイエーでのまるごと阿蘇フェア（写真3点参照）

「まるごと阿蘇」発信と販促活動の強化を図った。

◇開催日＝7月～10月

◇出荷品目＝阿蘇野菜全般（小国地区・中部地区・南部地区）



④オーケー新鮮市場（大分県内27店舗にて開催）（写真下2点参照）

市場外流通の有利販売・生産者手取り額の最大化を目指すため、大分県内で「まるごと阿蘇」発信と販促活動を行った。

◇開催日＝7月～10月

◇出荷品目＝阿蘇野菜全般（小国地区・中部地区・南部地区）



☆☆☆ ちゃぐりん感想文 ☆☆☆



写真左から木敷さん、西さん、興裕さん

『べんきょうわしあわせ』を読んで

小国小学校4年 木敷結莉恵

わたしは、ちゃぐりんの本の『べんきょうわしあわせ』という所を読みました。

わたしたちは、大きいになると、小学校に入るけど、昔は、学校に行くことが当たり前なことではなくて、学校に行かれない人が多かったのにはびびりました。なぜ、戦争があったら学校に行けなくなるのかなと思いましたが、なぜ行けなくなるかを父さんに聞いてみたら、戦争に行かないといけなかったり、残った人はお手伝いをしたり、はたらいたりして、食べものを貰ったり、贈るものを作ったりしないといけなかったと教えてもらいました。だから学校に行けなかったりするのだなあということがわかりました。

吉田さんは、字が書けないし、字が読めない

くてスーパーの支ばらいや、食器でメニューが読めないのは、くろくしたろうなど思いました。でも、孫の一大事をきつかけに、読み書きを習う漢字学校に行くことを決心したこと、吉田さんの年令で勉強しようと思つたのもすごいと思いました。吉田さんは名前を書けるようになったけど、二年も字が覚えられなかったから、大変だったんだと思えました。吉田さんは、『母』という字が好きだと書いてありましたが、わたしは、『成功』という字が好きです。それは、成功したらうれしいし、成功するようにならばろうと思えるからです。

吉田さんの『べんきょうわしあわせ』を読んで、できないことをできるように、いろいろとがんばろうと思いました。もし、吉田さんみたいに、お店などでまわっている人がいたり、自分のおもちゃやまわりの人がまわっている人を見かけた時には、たすけてあげれるようになりたいと思います。

『あつちゃん畑』を読んで

勢水小学校4年 西 瑞香

この物語は、だいしんさい後も、まだ地しんがある中まみとしんやが本この練習をする物語でした。本この練習をしていると、とちゅうで地しんがきました。それでも、だいにじよぶ、あわてるなと声をかけあつたりみんながやさしくなっていました。私は、もし地しんがきたらどうしていいかわからない

ので、こわいし、泣いてしまつかもかもしれません。まみとしんやたちは、声をかけあつことができてすごいと思いました。

しんやのいじいちゃんは、りんごを作っています。おじいさんが畑のすみにあいたあなの中にりんごをどさりすてていました。そのときまみは、びびりました。

私は、そのとき、まつかできれいで食べられるりんごを、どうしてすてるかとおもいました。もつたいたいと思いました。

まみの家は、全国のお客にお米を届けていました。米の予約をキャンセルする電話が、たくさんあった。『不評被害』という言葉は、わからなかったし私は、はじめて知りました。ほうしやのうの、えいきょうで、農作物が安全とわかっていても、みんな不安で買わないのです。いっしょうけんめい、りんごやお米を育ててきたのに、捨てなくちゃいけなかったり売れないなんて、悲しくていやだろうと思います。

でも、しんやのいじいちゃんほどんたいいへんなことにもめげないで道を切りぬくのが、名人つうもんだぞとりんごを一つ、まみの手にぎゅつとにぎらせて言った。おじいちゃんには、本三は、悲しいのに、そんなこと言うなんて強いと思つたしすごいとおもいました。

そのことをきいたまみは、本この名人になつてみんなが、ふるえるような、でっかい音で、本こを一つときめました。夏祭りの日のために、まみと、しんやは、本この練習にうちこんだ。

夏祭りの日会場は、お客でいっぱいでした。

まみと、しんやは、ドオン、ドオン、ドンお米がたくさんとれますように、うまいりんごが、なりますように、みんなが、幸せでありますようにと、まみと、しんやは、息を合わせてパチをふりおろして二人のいのりは、天へかけのぼっていきまして。

テレビを見ると、今もまだ、ほうしやのうのせいで、農作物が、売れない農家の人たちが、いるとわかって私はどうしたら、このことがなくなるかわかりません。でも、この物語を読んでみんな、たいへんなことにも、めげずに助けあうという大切なことがわかりました。早く、この問題がいかけてできるといいなと思いました。

『田畑からの「へえ」な話』を読んで

白水小学校4年 興裕花音

わたしは、TPPについてかいてある文章を読みました。うちのいじいちゃんは、昔からキャベツを作っているのかです。三月からいからたねまきのじゅんぴを始め、六月からいからうえつけにはいります。そして七月からキャベツとりが始まります。

暑い日も雨の日でも、毎日しゅうかくします。キャベツのねだんは、毎年ちがいます。高い日のほうが少ないです。TPPさんかになつて外国から、いじいちゃんを作ったキャベツより安いキャベツが入ってきたらみんなは、安いキャベツの方をかうと思えます。いじいちゃんのキャベツがうれなくなるん

JA・SSドライブウェイ
サービスコンテスト熊本県大会
出場の高村・古澤職員とも敢闘賞



コンテストに出場した高村・古澤職員と応援の皆さん

第35回JA・SSドライブウェイサービスコンテスト熊本県大会が11月15日、グランメッセ熊本で開催されました。JA阿蘇からは地区予選を勝ち抜いた小国SSの高村涼職員と急ぎよ選手交代になった久木野SSの古澤正剛職員の2人が各部門に出場しました。同大会はJA・SSスタッフの接客・点検・技術サービス向上を図るとともに、経営の強化を図るのが目的です。今大会では、新たに利用が多くなってきたセルフSS部門が加わり、各JA・SS代表21人が各部門に出場し、審査

員の見守る中、接客態度・安全点検などを行い日常業務の成果を披露しました。

審査の結果、フルサービスSS部門に出場した古澤職員、セルフSS部門に出場した高村職員とも、それぞれ敢闘賞を受賞しました。

選手・SSスタッフの皆さん、業務終了後の練習大変ご苦労さまでした。



接客の競技を行う高村選手



競技する古澤選手

最優秀賞に
鶴林・安岡職員チーム
JA阿蘇ロールプレイング



接客の演技を行う鶴林職員

12月1日、一の宮中央支所で信用窓口担当者によるロールプレイング阿蘇大会が行われ、最優秀賞に長陽支所の鶴林愛莉職員と安岡親典職員チームが選ばれました。

工藤保雄組合長や農林中金熊本支店の職員らを審査員に迎え、お客様に選ばれ、信頼される地域ナンバーワンの窓口を目指し、9チームが与えられた課題で競い合いました。2人1組でチーム編成されテラー役・上司役を、各チームは所要時間内でそれぞれ工夫を凝らし競いました。

最優秀賞チームは1月26日にウイング松橋で行われる「JAバンク熊本窓口ロールプレイング大会」(JAバンク熊本主催)に出場します。

尚、阿蘇大会での最優秀賞外の成績は次の方々(チーム)です。

▽優秀賞Ⅱ 宮川理沙・石田義則チーム(一の宮中央支所)、伊藤豊・時松誠也チーム(小国郷中央支所)



時松・伊藤職員(小国郷中央支所)



石田・宮川職員(一の宮中央支所)



安岡・鶴林職員(長陽支所)

JA貯金 うまかもん キャンペーン2012

平成24年 **11月1日(木)~**

平成25年 **1月31日(木)**



©2010熊本県くまモン公社



JA阿蘇にじじいの
お慶おキキキ!!



プレミアム付 定期貯金・定期積金

プレミアム1 店頭表示金利+年**0.2%**

対象商品

定期貯金(預入期間:1年以上)30万円以上新規ご契約(※給付額を下記参照)

定期積金(預入期間:2年以上)100万円以上新規ご契約

プレミアム2 くまモンデザイン野菜栽培キット(先着200名様)または
ちょきんぎょグッズ(先着120名様)をプレゼント!

定期貯金(預入期間:1年以上)10万円以上30万円未満の新規ご契約または10万円以上の増額ご契約

※ご契約いただける方は、個人の方に限ります。*上乗せ金利の適用は、お預け入れ時から初払期日までの当初預け入れ期間のみとさせていただきます。自動振替後は店頭表示金利を適用します。*上乗せ金利は、今後の金利変動その他の事情により、変更する場合があります。*中途解約された場合は、解約時の当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。*お利息(給付額)には平成25年1月1日以降、復興特別所得税が附加された20.315%の税金がかかります。

詳しくは店頭またはホームページでご確認ください。
JAバンク熊本ホームページ <http://kumamoto.jabank.org/>

JA阿蘇

理事会・監事会報告

■平成24年度第9回理事会

日時 平成24年10月29日午後1時30分
一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

平成24年度上期決算実績報告について

- 1) 貸出金について
- 2) 分配委員会(仮称)設置について

報告事項

- 1) 役員責任調査委員会について
- 2) JA阿蘇活動総合3か年計画の24年9月末進捗状況について
- 3) 平成24年度JA阿蘇不祥事未然防止のための行動計画
24年9月末進捗状況について
- 4) 平成24年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの
進捗状況について(9月末)

- 5) 7・12豪雨災害に伴う経過報告(最終)等について
- 6) 組合員の加入及び脱退の状況について
- 7) 平成24年度上半期内部監査実施状況報告について
- 8) 平成24年度上期決算監事監査日程について

- 9) 熊本県常例検査日程について
 - 10) 平成24年度余裕金運用状況について
 - 11) 2012JA阿蘇総合展示会実施要領について
 - 12) 産山波野給油所(仮称)の名称について
4. 閉会

■平成24年度第10回理事会

日時 平成24年11月29日午後1時30分
一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会・総務専門委員会)

10月末実績について

- 1) 貸出金について
- 2) 豪雨被災者に対するローン金利対応に係る
申込期限の延長について(案)

3) 職員年末賞与支給について

報告事項

- 1) 第24回JA熊本県大会の開催及び乗車場所・集合時間等について
4. 閉会

●平成24年度第7回監事会

日時 平成24年10月22日午後1時30分
場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成24年度米麦等権卸監査回答書について
- 2) 平成24年度上期内部監査実施報告書について
- 3) 平成24年度上期決算監事監査事務手続きについて
- 4) その他

報告事項

- ①常勤監事業務報告について(9月)
 - ②第13・14回常勤会議 主な内容について
 - ③行事予定について
 - ④役員責任調査委員会経過について
 - ⑤その他
4. 閉会

●平成24年度第8回監事会

日時 平成24年11月28日午後1時30分
場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成24年度上期決算監事監査報告書(案)について
- 2) 平成24年度導入家畜等権卸監査実施要領(案)について
- 3) その他

報告事項

- ⑥常勤監事業務報告について(10月)
 - ⑦常勤監事日常監査報告について(10月)
 - ⑧監査・閲覧内容の指摘について(10月)
 - ⑨第15・16回常勤会議 主な内容について
 - ⑩行事予定について
4. 閉会

組合員資格確認について

当JAに届け出て頂いている内容(氏名、住所、組合員たる資格の別等)に変更があった場合には、JA阿蘇本所総務部総務人事課(TEL0967-22-6111)迄ご連絡ください。

JA阿蘇職員異動のお知らせ

	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
河原 浩	阿蘇町中央支所購買課中部LPガスセンター主任	平成24年11月1日	営農部農産課農産係中部地区担当兼 地域農業再生協議会担当
筑紫 大輔	一の宮中央支所購買課やまなみ給油所長	平成24年12月1日	波野支所会議渉外係

JA阿蘇 やまなみSS

12/17 月 セルフSS

13:00より

グランドオープン

キャンペーン期間 **2012. 12/17月 → 20木**
(13:00より)



プリカ購入でガソリン・軽油が
最大 5円引き
(1ℓにつき)

期間中

JA-SSプリペイドカード
ご購入のお客様にプレゼント!

さらに

ガソリン・軽油2,500円以上
給油のお客様にプレゼント

ポリラップ



(22cm×20m)
1本



**トイレット
ペーパー**
12ロール
プレゼント!!

同乗の
お子様にも



**ミックス
キャンディ**
プレゼント!!

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

*商品は取扱いに届くまでお返しさせていただきます。*商品はイメージ写真につき、実際とは異なる場合がございます。*商品は、十分にご利用しておりますが、万一品質の確保がとまどいでいます。ご容赦ください。



**JA阿蘇
やまなみSS**
TEL. 0967-24-2472
FAX. 0967-24-2473
阿蘇市渡野大字小地野字上里畑1143番11
営業時間/7:00~21:00



農家の皆さんへ税務署からのお知らせ

◎平成26年1月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます。

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の合計額が300万円を超える方にとって必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税の申告の必要がない方を含まず。）について、平成26年1月から同様に必要となります。

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）に掲載されていますので、ご覧ください。

◎青色申告を始めてみませんか？

「青色申告」は、日々の取引を所定の方法により記帳し、その帳簿に基づいて正しい申告をすることで、税金の面でいろいろ有利な特典を受けられることができる制度です。

青色申告をするためには、青色申告をしようとする年の3月15日までに、「所得税の青色申告承認申請書」に必要な事項を記載して、所轄税務署に提出する必要があります（新たに開業された方は、原則として開業の日から2か月以内に提出してください）。

青色申告の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）の「パンフレット・手引き」に掲載している「はじめてみませんか？青色申告！」をご覧ください。

◎ネットで申告 e-Tax

e-Taxでは、自宅やオフィス、税理士事務所等からインターネットを利用して申告、申請・届出等ができます。

e-Taxを利用すると、所得税の確定申告を本人の電子署名及び電子証明書を用いて、法定申告期限内にe-Taxで行うと、所得税額から最高3000円の控除を受けることができます（平成19年分からは平成24年分の間でいずれか1回）。所得税の確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票等は、その記載内容（病院等の名称・支払金額等）を入力して送信することにより、これらの書類の提出を省略することができます（法定申告期限から5年間、税務署から書類の提出又は提示を求められることがあります）。

e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

トラクター利用者の方へ!

阿蘇警察署、大津警察署、小国警察署、高井警察署、山都警察署

トラクター転落・横転による交通(死亡)事故多発

要注意!!

畑地から道路へ出る時、段差、傾斜地、幅員の狭い道路・畦道などからの**転落、横転**

※ 農繁期の運転は、特に体調管理を徹底し安全運転に努めて下さい。

トラクターの特性

- 車高が高いため重心が高く、
- 前輪が小さく操縦が大変なことから小回りがきく、
- ほとんどの車種のブレーキが左右独立（急激な減速による）しての操作に熟練を要する、
- 農作業用に作られて、そのため、平地を走行するのみに向かない、
- シートベルトを着用していない場合は必ず脱がされる、
- 藪のかたまり（1～2分）であること、下敷きになれば重傷を自ず可能性が高い、
- 作業用ローダリを上げた状態でバックが履きやすい、

事故防止のためのポイント

- ① シートベルトが装着されて、これは、シートベルトを必ず着用する、
- ② 転落の恐れ、横転の恐れがある場合は必ず減速をとり、道路を離れ、安全な場所に立ち止まる、
- ③ 急な下り坂では必ずエンジンブレーキを用い、また途中で走行プログラムの操作を行わない、
- ④ 走行、登降板、駐越え時には、安全のため左右のブレーキペダルを連結して走行する、
- ⑤ 急回頭、急減速、急停止をしない、
- ⑥ 道路運送車両法で規定する保安基準に適合しない機械、部品認識がない車両は道路を走行できない、このトラクター等に確認して運転する、

※ ナンバー装着車以外は公道での走行不可